

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2020年11月28日

事業所名：療育支援つばさ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・コロナウイルスの影響もあり、なるべく距離をとり、部屋分けや机の配置などを工夫している。	・人数に適したスペースがある ・他事務所を見たことがない ・登所日の人数や活動内容によると思う	・人数が多い時はなるべく分散し、スペースを確保する
	2 職員の適切な配置	・子どもの人数や状況に合わせて職員の配置を行っている。	・いつもていねいに対応してもらっている ・職員はあたたかい印象	・現状維持
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・視覚で理解できる掲示板を用意したりしている。	・視覚でわかりやすい環境になっている(シンプル) ・すっきりしていて過ごしやすい環境	・現状維持
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・清潔に加え、アルコール消毒もこまめに行っている。	・清潔で落ち着ける空間	・現状維持 ・消毒などこまめに行う
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・職員会議などで意見を出し合う振り返る目標設定を行っている。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・今現在 行っていない。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・積極的に外部の研修に申し込み参加している。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・3ヶ月に1度モニタリングを行っている。	・子どもの特性を十分に理解して作成されている。 ・子どもに寄り添って考えてくれている。 ・子どものペースに合わせて対応してくれている。 ・どこまでOK、どこまでNGかわかってもらっているので無理のない支援内容になっている。 ・3ヶ月に1度行われている。	・今後も本人(保護者)のニーズに合わせた問題解決を支援する。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・行っている。		”
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・行っている。		”

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供 続き	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・行っている。	・くわしく説明してくれている。 ・子どものペースで対応。 ・スモールステップで伸びている。	・現状維持
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・日常の中で個々のプログラムも成長に合わせて職員間での話し合いで決めている。		・現状維持
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・行っている。		・現状維持
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・固定化している。個々に合わせてのプログラムを立案できるように職員間で意見を出し合いたい。	・色々なことをしてくれるので楽しみにしている。 ・家ではできないことを経験・体験することができる。 ・家ではできないことを学んでいる。	・保護者からの意見としてではないが見つめ直す点があるので改善したい。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・行っている。		・現状維持
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・行っている。		・現状維持
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・行っている。		・現状維持
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・行っている。		・現状維持	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・行っている。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・該当なし		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・該当なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・相談支援員の働きかけがある場合は連携を取れている。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・最高年齢で12才のため、行ったことがない。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・行っている。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・行っていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・くわしく知らない。 ・今年はコロナの影響で外での活動が難しい。 	・今現在の情勢を考えると計画しない方が良い。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・行っていない。		・今後行う計画はない。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・行っている。	・しっかりしてもらっている。	・現状維持
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・行っている。	・くわしく内容を説明してくれた。	〃
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・行っている。	・個別支援計画のもとで共通理解をしている。	〃
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・行っている。		〃
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・行っている。		〃
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・行っていない。	・父母会や保護者会はない。 ・苦手なので助かる。	・必要とする人が何名いるかアンケートで調査し、必要であれば開催したい。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・行っている。		・現状維持
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・行っている。		〃
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・行っている。(1月)		〃
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・行っている。		〃

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・マニュアルを作成し、周知徹底を図った。		・訓練を重ねている。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・行っている。		・定期的に点検を行う。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・虐待防止の研修には参加している。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・拘束までに至る事はない。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・食物アレルギーのある子はいない。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリまでには至る事がない		